

(3) 2017年(平成29年)11月13日(月曜日)

物流 Weekly

飯能市に関東工場

ユーロイキヤスター
来春、本格稼働へ

ユーワイキヤスター（雄島耕太社長、大阪府東大阪市）は、埼玉県飯能市の飯能大河原上ど、デリバリーア化を図ることで、さらに顧客の要望に応えていく。

工業団地内に 関東工場を新たに建設したと発表。11月から操業(試運転)を開始し、2018年4月の本格稼働を予定している。

新工場を供給体制強化とマザー機能を担う生産拠点と位置づけ、生産拠点が多様化する市場に向け、生産力の向

在、受注生産・OEM市場を中心に、600

え、これまで国内3工場(奈良池沢工場、奈良額田部工場、福岡工場)、海外2工場(蘇州工場、上海工場)で生産を行ってきた。現

同社はギャラクシー専門メーカーとして、今年創立41周年を迎

0種類以上のキャスターを生産しており、新規納入社数も年間100社以上のペースで増加、主要取引先是1000社を超えている（2017年4月時点）。

年々増加する受託製造依頼に対応するため、設備投資による生産能力の増強と、従来よりも生産効率を向上させることが急務であり、工場を新設すること

どどなった。また、中部から以西は奈良工場・福岡工場、関東以北は関東工場から供給する体制をとり、災害時のリスク分散と同時に、受注から出荷までの納期短縮や物流コストの低減を図ることで、より迅速に顧客の要望に応えていく。新関東工場の規模は延べ床面積7,218平方メートルと、福岡工場（約1万4,088平方メートル）に次ぐ規模。

するなど、機能的にすべてのフロアに生産工程をレイアウト。また部品保管倉庫機能を持つ設備として、1000パレットの保管量を有する最新の自動倉庫を導入。

新工場のライン増設により、従来よりも幅広い受注ロットへの製造対応が可能となり、生産能力は最大で年産2000万個が可能と見込んでいる。

また、ISO9001（品質マネジメントシステム）と併せて、環境面では、国際標準（環



境マネジメントシステムの認証を取得。1階には、技術室と試験・品質管理室を備え、品質の高い商品を送り出す検査ラインの充実を図り、全照明をLED

場でもあるため思い入れも大きい。受注から出荷までの納期短縮を図り、より迅速に顧客の要望に応えていく」とコメントした。

化するなどの環境負荷低減の取り組みを推進する。